

## 山中湖自転車・歩行者道景観検討委員会（第1回） 議事内容

日時：平成24年6月26日（火） 14：30～16：00

場所：山中湖交流プラザ・「きらら」 楽屋棟

委員会出席者

山梨大学大学院 教授	北村 眞一（委員長）
山梨大学大学院 教授	大山 勲
山中湖観光協会長	天野 凱弘
山中湖村企画課長	高村 富義
山梨県道路整備課道路企画監	池谷 和樹
国土交通省甲府河川国道事務所長	矢崎 剛吉（代理：乙守 和人）
国土交通省甲府河川国道事務所調査第二課長	水川 靖男

議事内容

自転車・歩行者道整備イメージに対するデザインの評価

意見集約

湖上から見た景観にも配慮すべき。

高欄は天端（笠木）を鋼製か木、下（横棧）をワイヤータイプにするなど透過性のよいもので眺望を妨げない工夫を。

高欄の高さを低くする。または、自転車・歩行者道の計画高さを護岸より1段下げるなど、車道や駐車場から湖への眺望に配慮した工夫を。

下部はコンクリートでよいが、支柱を湖側より奥に設置するなど、目立たない工夫を。夜間照明を高欄照明にする場合に眩しくならない工夫を。（子供の目の高さを避ける、間接照明とするなど）

歩行者が立ち止まり、山中湖を眺められる休憩スペース・植栽等の検討を。

自転車・歩行者道の幅員を広げても良いのではないか。

ゾーン毎に構造等を使い分けるなどしても良いのではないか。



第1回委員会の状況